

令和3年12月15日（水）～22日（水）
オンデマンド配信

第60回全国学校体育研究大会愛媛大会が開催されますことを、心からお喜び申し上げます。本大会は、本来であれば、全国各地から多くの学校体育関係者をお迎えして、2日間に渡り開催される予定でしたが、今般の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、関係者の皆様と協議を重ねた結果、誌上・ウェブ開催となりました。研究指定校・園が、試行錯誤を繰り返しながら取り組んできた成果を、全国の皆様にオンデマンド配信という新しい形式で発信できる貴重な機会をいただきました事をうれしく存じます。

また、スポーツ庁、公益財団法人日本学校体育研究連合会の皆様におかれましては、平素から学校体育・スポーツの推進と発展に御尽力いただくとともに、本大会の開催に向けて格別の御配慮をいただき、深く感謝申し上げます。

併せまして、これまでの学校体育の研究と実践活動が高く評価され、全国表彰を受けられた皆様方には、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々の御活躍を祈念申し上げます。

さて、本県では、「令和3年度教育基本方針」のひとつとして「豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進」を定め、食習慣、運動習慣などの望ましい生活習慣を確立し、子供たちの豊かな人間性や健康・体力など、社会で生きる力を育むため、指導の一層の充実に取り組んでおります。運動習慣の定着のためには、学校教育、とりわけ体育・保健体育科の授業における「体を動かすことが楽しい」「できるようになってうれしい」という経験の積み重ねにより、一人一人が自信を深め、目標に向かって挑戦を続けることが重要です。

本大会では、新学習指導要領並びに愛媛県の子どもの実態やこれまでの研究実践を踏まえ、大会主題を『主体的・対話的で深い学びを通して、未来につなぐ体育・保健体育学習—仲間とともに「愛顔（えがお）」で挑戦する授業の実現—』と設定し、体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができる「共生の視点に立った授業実践」と、学びの過程における評価を教師の授業改善へとつなげる「指導と評価の一体化を一層促す授業実践」という二本柱で研究に取り組んで参りました。研究を進めるにあたり、スポーツ庁並びに公益財団法人日本学校体育研究連合会をはじめ、各分科会指導助言者の皆様には、細やかな御指導を賜り、心よりお礼申し上げます。

本県の取組が御視聴いただいた全国の皆様の「明日からの授業づくり」につながり、愛顔（えがお）の輪が全国へと広がっていくことを願っております。

皆様方には、新型コロナウイルス感染症等の状況が落ち着きましたら、改めて愛媛県にお越しいただき、日本三古湯の一つにあげられる道後温泉や、瀬戸内の海の幸、豊かな自然が作り出す山の幸を御堪能いただければと思います。

終わりに、本大会の開催に当たり、御尽力いただきました全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、御視聴いただきました皆様、本報告書を御覧いただいた皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。